

学生海外渡航時のリスク管理体制

平成26年1月23日（木）15：00～16：30 獣医学研究科・講堂

対象：獣医学研究科・獣医学部・人獣共通感染症研究センターの教員・職員



大橋 一友 先生

- ・大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授
- ・大阪大学グローバルコラボレーションセンター長

専門：産婦人科学 母子保健学

《概要》

グローバル人材育成という言葉は大学教育のなかでも数多く用いられています。しかし、グローバル人材育成にあたっての大学組織としての体制にはまだまだ不十分な点があるように思われ、その代表的な項目の一つが、「学生の海外渡航時のリスク管理」ではないかと思います。

大阪大学グローバルコラボレーションセンター（GLOCOL）は2007年度に大阪大学の教育目標「教養・デザイン力・国際性」のうち「国際性」を強化する部局として設立されました。その活動の特徴は研究・教育・実践を統合したグローバル人材育成と育成方法の開発です。2010年度よりは海外での実地体験学習と実践のサポートを目的とした海外体験型教育企画オフィス（FIELD O：Fieldwork, Internship and Experiential Learning Design Office）を設置し、活動のさらなる強化を図りました。FIELD Oは2011年度より活動を開始し、今回のFDセミナーでは2年以上にわたり、GLOCOLの全教職員が学生の海外派遣をいかに円滑に行い、また、リスクをいかに軽減してきたかについてお話いたします。

本セミナーでは①旅行形態と旅行保険、②リスク管理体制、③健康管理のお話をさせていただきます。本セミナーの内容は本年度末までにGLOCOLブックレットとして発刊する予定にしております。ブックレットでは海外渡航プログラム作成の際の手続きの流れや会計処理方法、さらには、GLOCOLで経験しましたリスク事例とその対応の紹介もしております。

学生の海外渡航時のリスク管理は今後もさらにより良いものにしていかなくてはなりませんので、皆様方からのご意見をうかがいたいと考えております。